

2026年度（令和8年度）事業計画（案）

放課後等デイサービス「こども村植田」

1 施設を取り巻く現状と課題

（1）事業の種類及び利用定員

① 放課後等デイサービス 定員 10 名

（2）県市町村等からの受託、補助事業等

（3）地域における公益的な取組

こども食堂（月 1 回程度）

（4）運営方針

「できた！」を自信に、「やりたい！」を未来へ繋げる療育。

等事業所では、以下の 3 つの柱を軸に運営を行います。

1. 安心・安全な居場所づくり

お子さまが心身共にリラックスでき、「ありのままの自分」で
いられる環境を提供します。

安全管理マニュアルを徹底し、物理的・心理的な安全を最優先し
ます。

2. 個別のニーズに寄り添った発達支援

画一的なプログラムではなく、個別支援計画に基づき、お子さま
の特性や発達段階に合わせたアプローチを行います。「できた！」
という成功体験を積み重ね、自己肯定感を育みます。

3. 地域・家庭との連携強化

ご家族との密なコミュニケーションを大切にし、お悩みや喜び
を共有します。また、学校や市区町村、他の福祉サービス機関と
連携し、地域全体でお子さまを支えるネットワークを構築しま
す。

2 施設の実施施策と取組の方向性

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	SNS や HP を通じた現場の魅力発進
現状と課題	福祉職に対する「きつい」という先入観があり、採用が困難。子育て中の職員が働き続けられる環境整備。
取組の方向性	柔軟なワークスタイルの確立により、多様な人材確保と定着を図る。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	定期的な内部研修会の実施と外部研修への参加支援。
現状と課題	個々の経験値による支援になりがちで、ケアの質にばらつきがある。新人教育の体系化が不十分。
取組の方向性	組織的な育成体制を構築し、全職員が共通の視点を持ってチームで提供する。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	定期的な 1 on 1 面談の実施
現状と課題	業務の多忙さからコミュニケーションが不足し、心理的安全性に欠ける場面がある。
取組の方向性	互いを尊重し、意見を言い合える風通しの良い組織づくりを通じて離職防止を図る。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	ICT ツールの導入による記録業務の効率化
現状と課題	手書きの記録・事務作業が多い
取組の方向性	無駄な業務を削減し、直接支援に充てる時間を増やすとともに、プライベートの充実を支援する。

(2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	集団生活に向けた支援
現状と課題	特性により集団になじめない子どもが多い
取組の方向性	集団生活のルール理解が難しかったり、輪の中に入

	ることが困難な子どもが多い中で、子どもが見通しを持てる環境を整備していく。
--	---------------------------------------

イ 安心安全で快適な暮らしを保証し、利用者児の満足度を高める。

実施施策	ヒヤリハット事例の共通と対策の実行
現状と課題	事故防止に対する意識の徹底が必要
取組の方向性	物理的・精神的な安全を最優先し、子どもたちが「また来たい」と思える居場所を提供する。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	地域住民向けの内覧会
現状と課題	地域社会との接点が少なく、施設の役割について十分に理解されていない
取組の方向性	地域に開かれた施設を目指し、障がい福祉への理解を広める拠点となる。

(2) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	利用率の徹底管理（目標利用率の達成）
現状と課題	利用にムラがあるため、稼働率の変動があり、収支の予測が立てにくい。
取組の方向性	適正な定員管理に努め、持続可能な経営を目指す。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	保護者及び関係機関との連携
現状と課題	関係機関と保護者との関係性の構築が乏しい
取組の方向性	保護者・関係機関・職員が、お子さまを通して、情報共有を密に連携を取りながら、共通理解を深め、信頼関係の構築に努める。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	報連相の徹底
現状と課題	あらゆる情報が飛び交うため、情報共有が難しい。
取組の方向性	常勤・非常勤といるため、伝達簿やラインワークス等の連絡ツールを利用しながら報連相の徹底に努めて

	いく。
--	-----

3 目標利用率

事業名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
放課後等デイサービス	10	40%	50%	60%	75%	85%	75%	80%	85%	85%	85%	90%	90%	75%

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

名称	執行見込額
なし	

5 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位：千円)

名称	執行見込額
なし	

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

名称	執行見込額
なし	